

技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	☒ 安全・防災 ☐ 維持管理 ☐ 環境 ☐ コスト ☐ ICT ☐ 品質 （該当する分類に○を付けてください）		
技術名称	テンサーFWM工法	担当部署	福岡支店
NETIS登録番号	QS-170002-A	担当者	森山 竜二
社名等	三井化学産資株式会社	電話番号	092-752-0766
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機 本技術は、溶接金網製鋼製枠を用いた補強土壁工法で、従来はエキスパンドメタル製鋼製枠で対応していた。本技術の活用により、部材が軽量でかつ障害物がないため、日当り施工量が増加し、工期の短縮が期待できる。 2. 技術の内容 テンサーFWM工法は、溶接金網製鋼製枠を用いた補強土壁工法で、鋼製枠の中間位置にアンカーを設置することで壁面に作用する荷重が分散するため鋼製枠の軽量化が図れ、のり面近傍の転圧作業が容易となることから日当り施工量の増加し工期短縮が図れます。 壁面材は上下左右で連結された構造で一体化したのり面となります。 壁面材はクリッパー等で現場で自由に切断できるためコーナーやカーブ、縦断勾配にも対応できます。 3. 技術の効果 ・溶接金網に変えたことにより、資材が軽量となり運搬や組立が容易となり、施工性の向上および経済性の向上が期待できる。 ・溶接金網に変えたことにより、上下左右の型枠の連結された構造となり、壁面の安定性が向上する。 ・中間アンカーに変えたことにより、壁面に作用する荷重が分散され、鋼製枠の軽量化が図れた。 ・中間アンカーに変えたことにより、転圧作業が容易となる。 4. 技術の適用範囲 ①適用可能な範囲 ・嵩上げ盛土を含み 盛土高さ20m以下 ・一般に壁面勾配1:0.1～1:0.6 ②特に効果が高い適用範囲 ・工期短縮を期待する現場 ・災害時に早期復旧を要する現場 5. 活用実績 国の機関 49 件（九州 14件、九州以外 35件） 自治体 144 件（九州 24件、九州以外 120件） 民間 59件（九州 9件、九州以外 50件）		

デンスター® FWM工法

NETIS (新技術情報提供システム)
登録番号 QS-170002-A

概 要

溶接金網製軽量壁面材とジオグリッドデンスターを基本部材とした補強土壁工法です。壁面材はクリッパー等を使用して現場で自由に切断できるためコーナーやカーブ、縦断勾配にも対応できます。



特 徴

- 壁面材が軽量で、大型重機が不要であるため施工性に優れています。
- 壁面材は、上下左右で連結された構造で、一体化した美しいのり面となります。
- 盛土の圧密沈下に対応した構造です。
- 上下壁面材がかみ合わせ構造で中間アンカーを用いることで、のり面近傍の転圧作業が簡単に行えます。(最上段部は中間アンカーを斜タイ材に使用)



施工断面例

